



昨夜の祭のにぎわいも朝になるともう屋台も提灯もかたづけられてさっぱりしている。見事なものだ。

今年も終わりますね。さっぱりとさせて旅に出たかったがなかなかそうもいきません。今までもいつもそうだったけれども、仕事の整理をつけて旅立てたことなんてなかった。最初にネパールへ行ったときは、その前3ヶ月ほどほとんど寝ずに仕事をして、それでも間に合わず、辞めるつもりで、後はよろしくと言って旅立ってしまった。もっともそのときはやさしい上司が期限を伸ばしてくれていて帰ってくるなり、また、寝られない日が続いたが、伸ばせるならもっと前にやってくれば良かったのだ。同僚は鉛筆をに

ぎったまま寝ずに3日目に倒れて入院したくらいだったのだから。

入院したり、遊びに行ってしまったりして初めてわかるのだが、大概の場合、自分が抜けた後はどうにかなるものなのだ。そこで、すべておしまいと言うことはない。そこに気づかずに目先だけに追われ続けていると、一生を愚痴だけで終わらせてしまう。仕事も面白いし、やりたいのだが、もっと、心の束縛から解放されて、さっぱりとした気分ですごすこともないと、つらいものだ。土木の技術者達と話しているとそう思うことが多い。もう一つ高いところから落ちついて自分を見おろして見ることも必要なようです。

「定年になったらあれもしよう、これもしたいと考えた事がないね。」とこのあいだ友人と笑った。両方とも自分の事務所で、死ぬまでやるしかない立場だ。しかし、毎日それなりに水際立っている。不備も、倦怠も、怠惰も、二日酔いもいろいろあるが悔いはない。やりたいことはやっている。子供も基本線は見えてきた。もうどこで止まっても問題はない。

今度の旅も、いろいろ危険だと言うが今回の行動範囲は大丈夫だ。しかし、万一、どこぞの崖で踏み外したりとか、飛行機が落ちちゃった、なんてのも、まあ、もう良いような気がする。このあいだ行ったときは目の前から黒い牛が落ちてはるか下で首がもげているのが見えたしな。今回初めて目一杯の保険もかけたし、万一の時はこの賭はこっちの勝ちだ。年末ジャンボは難しいが、これならなんとかかなるかも知れない。そんな気分で旅立ちます。

それから今月から「ママチャリ ラプソディ」というのを出し始めました。自転車の周辺の事などを書きとめた手帳の1ページです。ただ、このごろコンピューターが壊れてきてこの文を書き終わるのに13回再起動するくらいで、仕事も時間がかかってしかたないが、今は金なら無い。このまま年を超します。来年のことは来年考えよう。いい年を迎えて下さい。

ノームの年末の日程は12/19～1/2までネパールです。どうしても差し入れなどしたい方はその前までに受け付けます。作文教室の編集は12/15の予定です。義士祭です。

<http://www.interq.or.jp/japan/gnomes/gnomes1>

TEL/FAX 03-5600-0195 高村 哲 GnomesJpn@aol.com